

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	211環境保全の促進		
施策のねらい (めざす姿)	市民一人ひとりの環境意識が高まり、身近な生活環境や自然環境、そして地球環境までに配慮した生活をおくっています。 市民・事業者・行政が協働して環境保全活動に取り組んでいます。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	市民生活部次長
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	マネージャー氏名	青木 真也

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	環境パネル展、環境フェアの他、環境学習講座を市民協働により進めていく。	③改革・改善内容	環境保全団体や市民、学校、事業者、庁内他課など、より多くの主体と連携し、事業を実施していく。
②①に基づく取り組み結果	環境啓発事業を進めたことで市民の環境意識向上が図られた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民・事業者	意図(対象をどうするのか)	健全な生活環境や豊かな自然環境の保全に取り組みます。
②施策の概要	市民の生活環境及び自然環境保全に向けて、環境に関するモニタリング及び相談対応の実施。また、環境意識啓発のための情報提供及び学習事業の実施。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地球温暖化による環境への影響など環境問題について強い関心が寄せられている。また、市民意識調査では、自然環境のよさについての今後の重要度、満足度は共にやや高めで、河川や里山自然など、本市の自然環境について意識が高まっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	水質、大気、自動車・航空機騒音などの環境監視や雑排水処理施設の修繕を実施。市民からの騒音等や空閑地の管理に関する相談などの対応を進めた。また、イベントや環境学習講座を開催し環境情報の提供や啓発活動を進めた。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	河川の水質BOD値	mg/L	7.1	7.5	7.5	5.0以下
	ii	市内全域の温室効果ガス排出削減率	%	—	—	—	25
	iii						
③基本事業成果指標	i	環境保全活動団体数	団体	12	12	12	増加
	ii	公害苦情相談受付件数	件	107	109	109	減少
	iii	環境計画策定・改定市民関与数	人	259	389	248	増加
	iv						
	v						
	vi						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)		令和元年度予算		
事業費(千円)	34,485	26,852	(単位:円) 245 円		59,936		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	公害苦情相談件数は減少傾向であるが、内容としては、市街化調整区域での大気汚染や住居地域での空き地の雑草などが多いことから、防止策を検討する必要がある。また、持続可能な社会構築に向けた市民意識を醸成については、実際に行動に、繋がるような啓発活動を行う必要がある。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	環境学習講座・イベントを開催し、市民の環境意識の啓発に一定の成果をあげることができた。また市内高等学校との協働事業についても実施することができた。しかしながら、河川の水質については、横ばいとなっており、目標値に達していないことを踏まえ、左記評価とした。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	地球温暖化対策実行計画(2018～2030年度)に掲げた目標達成に向け、市民への環境講座など啓発活動を行うとともに、持続可能な社会の構築に向けた施策が求められている。
③特に重点化する事務事業	環境保全の啓発に要する経費